

北海道の釧路市立景雲中学校 教頭 本田 貢 様から、MEXCBTの利活用についてお話を伺いました。

釧路市立景雲中学校では、北海道教育委員会の「自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立促進事業」を受けたことをきっかけに、夏休みの宿題にMEXCBTを活用しました。新谷将司主幹教諭と研修部長の早川将光教諭が中心となって活用を始められたとのこと。そこで管理職のお立場から、組織的な利活用についてお話しいただきました。

■■■学校HPのURL <https://www.kushiro.ed.jp/keiun-j/htdocs/■■■>

1. 校内でどのようにMEXCBTの活用を進めていったかを教えてください。

- ・北海道教育委員会の「自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立促進事業」の指定を受けたことをきっかけに、夏休みの宿題にChromebookを活用することを考え、どのような方法が有効であるかの検討を重ね、MEXCBTを選択した。
- ・担当の新谷主幹教諭と早川研修部長が、全教員を対象としたMEXCBTの紹介や操作方法の研修を行った。
- ・釧路市では、全ての小中学校で子どもたちがChromebookを使用できる状況にあり、その環境も活用への追い風となった。
- ・これまで学習した授業内容とつながる課題となるように内容を確認し、各教科代表に内容の精選を依頼し、より適した課題となるよう何度も検討を重ねた。
- ・普段、授業の中で積極的にChromebookを活用していることで、特に端末の使用法の説明や活用練習に時間がかからないことがMEXCBT導入の流れを加速させていった。
- ・1, 2年生は夏休みの宿題に活用し、「自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立促進事業」のChromebook持ち帰りの成果と課題の検証にも活用した。

2. MEXCBTの具体的な活用方法を教えてください。

- ・1, 2年生は夏休みの課題として、国語・数学・社会・英語・理科の5教科でMEXCBTを活用した。
- (例) 数学: ほっかいどうチャレンジテスト1年 方程式①、方程式②
ほっかいどうチャレンジテスト2年 式の計算①、式の計算②、連立方程式①、連立方程式②
- 社会: ちばのやる気ガイド1年 古代までの日本(2) 日本列島の誕生と大陸との交流(応用問題1・2)
ちばのやる気ガイド2年 古代までの日本(3) 古代国家の歩みと東アジア世界(応用問題1・2・3・5)
- 理科: ちばのやる気ガイド2年 化学変化と原子・分子(原子・分子)〈基本問題1・2〉
ちばのやる気ガイド2年 化学変化と原子・分子(化学変化)〈基本問題1・3〉
- ・3年生は個別の学力向上に役立てるよう、MEXCBTの紹介のみを行い、必須の課題とはしなかった。
- ・1, 2年生は学習した内容を各教科担任が確認し、1学期の学習の定着状況や夏休みの課題の取り組み状況の確認を行い、今後の指導に役立てた。



3. MEXCBTを使ってみての子どもたちの反応を教えてください。

- ・多くの子どもたちは意欲的に課題に取り組み、一定の成果をあげた。
- ・操作方法の混乱はあまりなかったが、各家庭のWi-Fi環境に違いがあり、うまく活用できないトラブルが続いた。課題を提出ができない理由の一つにWi-Fi環境が整わないことがあがった。

4. MEXCBTを使ってみての先生方の反応を教えてください。

- ・各家庭のWi-Fi環境の違いにより、全員が課題を終えられないという反省があったが、授業の中で教科書やプリント等の教材の補足としてMEXCBTの問題を活用する方向性が見えたことが収穫であった。この活用は、今後の授業改善につながるものとして有効になっていくと考える。

5. 今後の展望、文科省へのご要望等*がございましたら教えてください。

- ・今回の活用から見えてくる成果と課題を今後の授業改善・学力向上のための糸口として活用し、全ての教職員に実践の共有を図っていきたい。
- ・各家庭のWi-Fi環境の違いで学習に十分に取組めない生徒も見られたため、全ての子どもたちが平等に学習に取り組めるよう、様々な支援体制なども検討していただきたい。

* 文部科学省では、いただいたご意見やご要望を参考に、順次、MEXCBTの改善を進めています。